

京土会研修助成基金報告書

平成 26 年 6 月 4 日

京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻

赤木 俊文

〈感想〉私は京土会学生会員研修助成基金の援助をいただき、香港の香港理工大学で開かれた“10th International Workshop on Bifurcation and Degradation of Geomaterials”に5月28日～30日の3日間にかけて参加しました。このワークショップでは地盤材料に関わる分岐問題や材料劣化をテーマに発表が行われ、工学系の研究者だけでなく物理学に関わる方も参加されており、活発な議論が行われていました。特に、マイクロ X 線 CT を用いて地盤材料の微視的構造を可視化した研究や、地盤材料の微視的構造を考慮した FEM・DEM 併用の数値計算に関する研究など、近年の手法の高度化が感じ取れる発表は特に興味深く聞かせていただきました。発表されている先生方は世界の第一線で研究されている方々であり、発表内容は高度なものが多く、自分の知らない手法を用いた研究や今まで考えなかった視点からの研究は大変刺激になりました。同時に、発表内容が理解できないこともあり、自身の知識不足を実感しました。今後より精進していくつもりです。

今回のワークショップでは英語による口頭発表の仕方を学ぶ絶好の機会であり、説明中の言い回しや、つなぎの言葉、議論中に相手にかかる言葉などを学ぶことができました。今後の英語学習の糧にしていきたいと思えます。

今回ワークショップは、自身の研究へのモチベーションを高める上で、非常に有意義な時間となりました。京土会の助成金のおかげでこのような貴重な機会を得ることができたこと、心から感謝申し上げます。